

# 編入学・転入学試験概要

## ■ 編入学・転入学試験 募集専攻・募集人数

- (1) 編入学・転入学学年  
2年次および3年次  
ただし、音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻は2年次のみ
- (2) 募集人数  
若干名
- (3) 募集専攻・コース・楽器

募集専攻	コース・楽器
声楽専攻	●声楽芸術コース
器楽専攻	●ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン
	●弦楽器 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター
	●木管楽器 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
	●金管楽器 ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム
	●打楽器 ティンパニ、小太鼓、マリンバ
作曲指揮専攻	●作曲「芸術音楽コース」
音楽文化教育専攻	
ミュージック・リベラルアーツ専攻	
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	

## ■ 出願資格

### 2年次および3年次編入学・転入学の共通事項

併願の受験および一般選抜との併願はできない。

### 2年次編入学・転入学

本学による事前の審査によって\*、3年間で卒業が見込めるとされた者のうち、次のいずれかに該当している者

- (1) 3年次編入学・転入学出願資格のいずれかに該当する者
- (2) 4年制大学または短期大学に1年以上在学(見込の者を含む)し、教職・資格科目を除き30単位以上を修得(修得見込の者を含む)している者
- (3) 外国において相当年次の課程を修了(修了見込の者を含む)し、30単位以上を修得(修得見込の者を含む)している者

※上記に加え、外国籍を有する者は以下に該当していること(「永住者」は除く)。

- (4) 出願時に日本語能力試験(JLPT)でN2以上に合格している者、または日本留学試験(EJU)「日本語」(読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く)で200点以上を取得している者(ミュージック・リベラルアーツ専攻を除く)

※ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者は、出願時に出願資格(4)の日本語能力の証明書を取得している必要はありませんが、日本の大学での授業や学生生活に十分な日本語能力は必要です。入学時まで、「日本語能力試験(JLPT)」N2以上、または日本留学試験(EJU)「日本語」(読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く)で200点以上の取得に努めること。

- (5) 出願時に、日本の大学に入学することが可能な在留資格（「留学」等）を有していない場合、4月入学に必要な在留資格（「留学」）の取得が入学時までに完了せず、日本への渡航が授業開始に間に合わない可能性があること、または4月入学後に在留手続きのため一時帰国が必要となり、欠席となり単位取得に影響する可能性があることをあらかじめ了承のうえで出願する者。

※ビザ取得の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

### 3年次編入学・転入学

本学による事前の審査によって\*、2年間で卒業が見込めるとされた者のうち、次のいずれかに該当している者

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 4年制大学に2年以上在学（見込の者を含む）し、教職・資格科目を除き60単位以上を修得（修得見込の者を含む）している者
- (3) 短期大学を卒業した者、または卒業見込の者
- (4) 高等専門学校を卒業した者、または卒業見込の者
- (5) 修業年限2年以上で、かつ、総授業時間数1,700時間以上または62単位以上の専修学校専門課程を修了した者、または修了見込の者
- (6) 修業年限が2年以上、その他文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校の専攻科を修了した者、または修了見込みの者
- (7) 外国において相当年次の課程を修了（修了見込の者を含む）し、60単位以上を修得（修得見込の者を含む）している者

※上記に加え、外国籍を有する者は以下に該当していること（「永住者」は除く）。

- (8) 出願時に日本語能力試験（JLPT）でN2以上に合格している者、または日本留学試験（EJU）「日本語」（読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く）で200点以上を取得している者
- (9) 出願時に、日本の大学に入学することが可能な在留資格（「留学」等）を有していない場合、4月入学に必要な在留資格（「留学」）の取得が入学時までに完了せず、日本への渡航が授業開始に間に合わない可能性があること、または4月入学後に在留手続きのため一時帰国が必要となり、欠席となり単位取得に影響する可能性があることをあらかじめ了承のうえで出願する者。

※ビザ取得の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

## ■ 他大学・短期大学単位等認定範囲

**2年次編入学・転入学** 本学の卒業要件に関わる科目を対象とし、総計44単位まで認定する。

※修得単位数によっては、3年間で卒業できない場合があります。

**3年次編入学・転入学** 本学の卒業要件に関わる科目を対象とし、総計88単位まで認定する。

※修得単位数によっては、2年間で卒業できない場合があります。

\*編入学・転入学希望者は2026年11月10日(火)～11月20日(金)までに下記の書類を本学入試課に送付すること。12月末までに、出願の可否をお知らせします。

- ・出願資格審査申請書(本学所定用紙)。
- ・成績証明書
- ・出願時に履修中の科目(単位)がある場合は履修登録科目証明書
- ・履修した科目の講義概要、シラバス等(履修した科目のシラバスがわかるように付箋等をつけてください。コピー可)。

## ■ 受験上・修学上の配慮を希望する志願者について

一般選抜概要を参照のこと。

## ■ 日程

入試要項の発表	2026年7月下旬～
出願資格審査申請期間	2026年11月10日(火)～11月20日(金)
出願期間	2027年1月6日(水)～1月18日(月)
試験期間	2027年2月16日(火)～2月20日(土)
合格発表	2027年2月26日(金)15:00～2月28日(日)17:00
入学手続期間	2027年2月27日(土)～3月5日(金)

※課題内容については2027年度一般選抜(A日程)入学試験要項で必ず確認すること。

## 編入学・転入学 試験科目・実技試験課題曲

2027年度一般選抜(A日程)入学試験要項の各専攻の入学試験科目の項を参照のこと。併願不可。

専攻・コース名	試験科目	編入学・転入学試験											備考		
		格資	英語	英語	専攻別実技試験	論文課題	(注2)面接・口述試問	副科実技(ピアノ)	コールドユーステン	新曲視唱(注3)	(注3)聴音(和音・旋律)	旋律聴音(四声体和声)		楽典(注3)	創作
専攻・コース名	配点	(注1)	100点					各50点					ABC(3段階)		
声楽	声楽芸術コース			○				○	○	選択	選択		○		聴音・新曲視唱より1科目選択
器楽	ピアノ、ピアノ演奏家コース			○					○			○	○		
	ピアノ・創作コース			○					○			○	○	○	専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題
	チェンバロ			○					○			○	○		
	オルガン			○				○				○	○		
	弦・管・打楽器			○				○		○		○			
作曲「芸術音楽コース」				○				○				○	○		専攻別実技試験に面接を含む
音楽文化教育					○	○									
ミュージック・リベラルアーツ	選択	選択	○		○										本学が行う英語試験・英語資格または検定試験証明書の提出より1つ選択
ミュージックビジネス・テクノロジー					○	○									

(注1) 文部科学省が公表したCEFRとの対照表に基づき、本学独自に換算する。

(注2) 面接・口述試問の内容は専攻によって異なる。

(注3) 今年度本学受験講習会にて実施の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

## 専攻実技(提出課題)

### 1. 声楽専攻 声楽芸術コース

- 歌曲、オペラ・アリア、オラトリオ・アリアより任意の2曲（演奏時間は曲間を含め7分程度）  
 ※歌詞は原語で歌うこと。  
 ※アリアは原調で歌うこと。  
 ※ミュージカルナンバー不可  
 ※暗譜で演奏すること。伴奏者を同伴すること。伴奏者が楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。

### 2. 器楽専攻 ピアノ、ピアノ・創作コース

2027年度一般選抜（A日程）入学試験課題による。

### 3. 器楽専攻 ピアノ演奏家コース

2027年度一般選抜（A日程）入学試験課題による。  
 ※ピアノ演奏家コースの受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

### 4. 器楽専攻 チェンバロ

2つ以上の異なる様式による作品を30分程度用意する。  
 ※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。  
 ※楽器は二段鍵盤チェンバロ（音域FF～f3、8' 8" 4、a1=415）

### 5. 器楽専攻 オルガン

2つ以上の異なる様式による作品を30分程度用意する。  
 ※暗譜の必要なし。楽譜を使用する場合は、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。  
 ※アシスタントの要、不要を専攻別曲目記入票に記入すること。  
 ※試験日以前に、レジストレーションのための若干の練習時間を与える。

### 6. 器楽専攻 弦楽器

ヴァイオリン	2027年度一般選抜（A日程）入学試験課題による ※伴奏が必要な楽器は、大学が伴奏者を用意する。
ヴィオラ	
チェロ	
コントラバス	
ハープ	
クラシックギター	

### 7. 器楽専攻 管打楽器

フルート	2027年度一般選抜（A日程）入学試験課題および10分程度の自由曲 ※ただし、 ・マリンバ受験に限っては、2027年度一般選抜（A日程）入学試験課題（1）、（2）、（4）、（5）と10分程度の自由曲 ・ティンパニ、小太鼓受験の自由曲は複数曲（合計10分程度）でも可とする。 ※伴奏が必要な楽器は、課題曲、自由曲とも伴奏者を同伴すること。 ※楽譜を使用する場合は、受験者、伴奏者いずれも、紙のものを用意すること（電子楽譜は使用不可）。 ※曲目記入票には課題曲を含め、すべての曲を記入すること。
オーボエ	
クラリネット	
ファゴット	
サクソフォーン	
ホルン	
トランペット	
トロンボーン	
テューバ	
ユーフォニアム	
打楽器	

## 8. 作曲指揮専攻 作曲「芸術音楽コース」

### 2年次編入学・転入学 (1) 作品提出

①ピアノ独奏曲 ②2重奏曲または3重奏曲

出願書類と共に提出すること。

### (2) 面接

### 3年次編入学・転入学 (1) 作品提出

①2重奏曲または3重奏曲 ②4人以上の編成による任意の楽曲

出願書類と共に提出すること。

### (2) 面接

## 9. 音楽文化教育専攻 (2年次のみ)

### (1) 論文課題 (90分)

当日出題する課題について1200～1600字程度で論じる。

### (2) 口述試問

志望動機、将来の希望などとともに、試験において作成した論文の内容について問う。

## 10. ミュージック・リベラルアーツ専攻 (2年次のみ)

### (1) 英語

以下より1つ選択する。

①本学が行う試験 (60分)

②資格試験

詳細は「①一般選抜概要」を参照のこと。

※英語を母語とする者または国内外を問わず中高等教育において3年以上継続して主として英語で教育を受けた者は免除する。ただし、通常の課程による3年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出すること。

### (2) 面接「日本語および英語」または「英語」を選択 (試験当日、本人の希望を確認)

※音楽に関する基礎知識を問う質問を含む。また、外国人留学生には簡単な日本語能力を問う質問をします。

### (3) 専攻実技試験

2027年度一般選抜 (A日程) 入学試験課題による。

## 11. ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 (2年次のみ)

### (1) 論文課題 (90分)

当日出題する課題について1200～1600字程度で論じる。

### (2) 口述試問

志望動機、将来の希望などとともに、試験において作成した論文の内容について問う。